



海風が冷たく、一層寒さを感じる2月がやってきました。まさきっこたちはサッカーや鬼ごっこなど友達と一緒に園庭を駆け回りながら元気いっぱい過ごしています。また、お店屋さんごっこに向けて品物づくりをしたり役割を決めたりしながら遊びを進めようとしています。

さて、幼児教育は遊びを通して行う教育であるといわれますが、具体的にどういうことなのでしょう。か。「いきいきまさきっこ便り第9号」では、松前幼稚園での遊びの様子から「遊びの中の学び」やその遊びが小学校の学習にどのようにつながっていくのかお伝えできたらと思います。

幼児教育に興味・関心をもっていただくとともに、さらにご協力やご支援をくださいますよう、よろしくお願いたします。

遊びを通して行う教育ってなあに？
遊びを通して豊かな心と体を育み、学びの楽しさを知る幼稚園教育

学校教育全体
～幼稚園から高校の学校教育を通して育む力～

学んだことを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力、人間性など

実際の社会や生活で生きて働く
知識及び技能

未知の状況にも対応できる
思考力、判断力、表現力など

※三つの力をバランスよく育みます。

幼稚園ではその基礎を育成

- ・知識及び技能の基礎
豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分ったり、できるようになったりする。
- ・思考力、判断力、表現力などの基礎
気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり表現したりする。
- ・学びに向かう力、人間性など
心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。

※遊びを通して三つの力を一体的に育みます。

遊びは幼児期にふさわしい学び
幼児期は、知識を教えられて身に付けていく時期ではありません。遊びを中心として、頭も心も体も動かして、主体的に、様々な対象と直接かわりながら、総合的に学んでいきます。

学びの質を支える教師
教師は一人一人の幼児を理解し、一緒に遊びながら幼児の興味・関心を広げたり深めたりします。何を学び何を得ようとしているのか、教師の読み取りと、必要に応じた支援を大切にしています。

松前幼稚園の中では、どんな学びがあるのか

例えばこんな学びがあります

感じたことや考えたことを伝え合う

まさきっこ農園での活動の中で...

友達と相談する。

互換を通して体験する。

赤い色水を混ぜたら赤い泡ができると思うよ。

葉っぱが大きくなったね。

なんか、においがするよ。

何度も繰り返す。

考えたり、試したりする。

変化に気づく。

気付きを友達と共有する。

ふわふわの泡を作りたい。

面白そうだな。

めあてをもつ

予想する。

少しずつ水を入れたらどうなるかな？

やっぱりそうなんだ。

気付きを確かめる。

憧れをもつ。

真似をする。

夢中になって泡づくりをする中で...

幼稚園での生活

幼稚園での遊びを通して子どもたちは、思考を巡らし、想像力を発揮し、自分の体を使って、また、友達と共有したり、協力したりしながら、学ぶことの楽しさを知ります。このように幼稚園での体験が、小学校以降の生活や学習の基盤をつくっているのです。